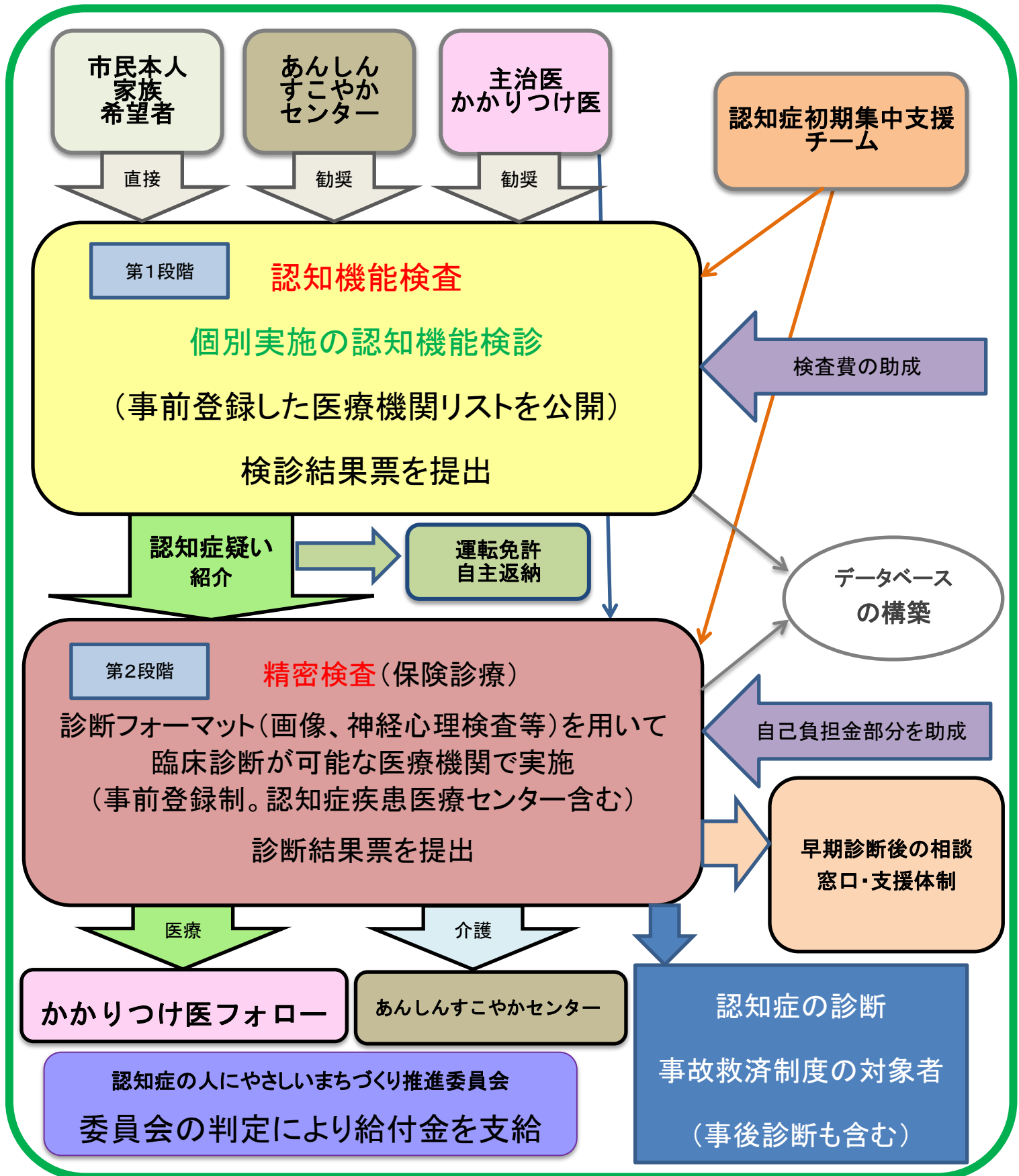


神戸市事故救済制度に関する診断のしくみ



(参考) 認知機能検査について

HDS-R(Hasegawa's Dementia Scale-Revised:改訂長谷川式認知症スケール)

年齢、見当識、3 単語の即時記銘と遅延再生、計算、数字の逆唱、物品記銘、言語流暢性の 9 項目からなる 30 点満点の認知機能検査。20 点以下が認知症疑いとなる。

DASC21(Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System-21 items:地域包括ケアシステムにおける認知症アセスメントシート)

認知機能障害と生活機能障害(社会生活の障害)に関連する行動の変化を評価する尺度で、介護職員やコメディカルでも施行できる 21 の質問からなる。

MMSE(Mini-Mental State Examination:ミニメンタルステート検査)

時間の見当識、場所の見当識、3 単語の即時再生と遅延再生、計算、物品呼称、文章復唱、3 段階の口頭命令、書字命令、文章書字、図形模写の計 11 項目から構成される 30 点満点の認知機能検査。23 点以下は認知症疑い、27 点以下は MCI(軽度認知障害)が疑われる。

<参考 URL>

一般社団法人日本老年医学会「認知機能の評価法と認知症の診断」

https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/tool/tool_02.html